



エゾシカ協会 20周年記念 シンポジウム

エゾシカ管理の 未来に向けた提言

エゾシカは北海道の貴重な自然資源です。平成以降、過剰に増加し、農林業被害、交通事故、自然植生への悪影響などが社会問題となっています。北海道エゾシカ管理計画に基づく対策により個体数は減少傾向にあるものの、未だに目標水準は達成されていません。一方、その目標達成後の個体数管理と利用に関する中長期的な青写真を、私たちはまだ共有していません。そこで、将来のエゾシカ管理のあり方について考える場を設けることにしました。

期日:2018年5月20日(日) 11:00~15:30(休憩 12:30~13:30)

会場:北海道大学学術交流会館 講堂(2階) 札幌市北区北8西5

プログラム

開場・受付 10:30~

第1部 これまでのシカとの関わり 11:00~12:30

11:00 開会/主催者挨拶

11:10 エゾシカ協会の歩み 井田宏之 (一社)エゾシカ協会

11:50 シカ管理先進地(欧米等)の事例紹介 伊吾田宏正 酪農学園大学

休憩 12:30~13:30

第2部 これからのシカ管理にむけて 13:30~15:30

13:30 個体数管理の現状と課題 宇野裕之 北海道立総合研究機構

13:50 有効活用の現状と課題 曾我部元親 北泉開発(株)

14:10 人材育成の現状と課題 松浦友紀子 国研)森林研究・整備機構

14:30 グランドデザインの内容紹介 赤坂猛 (一社)エゾシカ協会

15:15 コメント

15:30 閉会

主催:一社)エゾシカ協会

後援:北海道/林野庁北海道森林管理局/北海道地方環境事務所/

三井物産株式会社/日本哺乳類学会/「野生生物と社会」学会

協力:北海道立総合研究機構/北海道開発技術センター/酪農学園大学

参加費無料・申込不要(お問合せは symposium@yezodeer.org まで)